

2 「力みなぎる・やまなし」の実現

「チャレンジ山梨行動計画」 政策別実施状況

基本 目標	2	「力みなぎる・やまなし」の実現
----------	---	-----------------

政策	1	「やまなしブランド」の確立と販路拡大	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	18	
<p>【政策推進に当たっての基本的考え方】 本県は、大消費地である東京圏に隣接するという地理的優位性を備えるとともに、果樹やワイン、宝飾など、県内外に誇れる「すぐれもの」を豊富に有しています。 こうした「すぐれもの=やまなしブランド」を、さらに多く創り出すとともに、その情報を、全国へ、世界へと発信し、販路の拡大を図ります。</p>					
		項 目	頁	担当部局	
平成 22 年度 の 主 な 取 り 組 み 状 況		○ 「ビタミンやまなし」キャンペーンの実施	P.20	観 光 部	
		○ やまなし大使による情報発信	P.20	観 光 部	
		○ 商標冒認出願対策の強化	P.20	産 業 労 働 部	
		○ やまなしブランドチャレンジへの支援	P.21	産 業 労 働 部	
		○ 英国ロンドンでの甲州ワインプロモーションの開催	P.21	産 業 労 働 部	
		○ 繊維やまなしブランドの促進	P.22	産 業 労 働 部	
		○ 県産果実の輸出戦略プランの推進	P.23	農 政 部	
		○ 県産農産物の販売対策の強化	P.23	農 政 部	
		○ 県産銘柄畜産物の販路拡大	P.23	農 政 部	
		○ ジュエリーやまなしブランドの促進	P.25	産 業 労 働 部	
事 業 費	行動計画の事業費（4年間の計画額）			865 百万円	
	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）			661 百万円	
	前年度までの事業費			503 百万円	
	本年度の事業費			158 百万円	
数 値 目 標 の 達 成 状 況	数 値 目 標 の 名 称	基 準 値 (基準年度) A	目 標 値 (目標年度) B	現 況 値 (直近データ) C	進 捗 率 (%) $\left(\frac{C-A}{B-A} \times 100\right)$
	ワイン生産額	282 億円 (H17)	308 億円 (H22)	257 億円 (H21)	△ 96.2
	県産果実の輸出額	177 百万円 (H18)	380 百万円 (H22)	253 百万円 (H22)	37.4

主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
1 やまなしブランド戦略の展開 【観光企画・ブランド推進課】	企画総務費 (10,000) 10,000 広報費 (41,003) 41,003	<p>平成19年11月に策定した「やまなしブランド戦略」の展開の一環として国内外に向けたPRを実施し、本県のイメージアップ及びやまなしブランドの確立を推進した。</p> <p>平成21年度から実施している東京圏を中心とした「ビタミンやまなし」キャンペーンは、専門的ノウハウを持つ広告代理店にやまなしブランドのPRを委託して実施した。これにより、新聞・雑誌・テレビ番組等のメディアに242回取り上げられるなど、広告費換算で約16億円の効果を上げた。</p> <p>海外の情報発信強化の取り組みでは、海外向けの放送コンテンツを海外の放送局と共同で制作する事業に対して補助を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビタミンやまなしキャンペーン 平成22年4月～平成23年3月 ・海外向けの放送コンテンツ 4番組を制作、放送
2 やまなし大使による情報発信 【観光企画・ブランド推進課】	企画総務費 (7,700) 6,903	<p>本県のイメージアップを図るため、本県にゆかりのある在京の経済人等を「やまなし大使」に委嘱し、山梨をPRしていただくとともにワインやジュエリー等の「すぐれもの」の良さを実感してもらう交流会を開催し、本県の魅力の全国発信を促した。</p> <p>これにより、大使からの提案による雑誌への特集記事の掲載や大使によるテレビ番組での山梨のPRなど、本県の魅力の全国発信が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やまなし大使 708人 (平成23年3月末現在) 県に関する情報の定期的な提供 12回 ・やまなしサポーターズ倶楽部交流会の開催 平成22年9月
3 商標冒認出願対策の強化 【海外展開・成長分野推進室】	商工総務費 (1,000) 906	<p>販路拡大に取り組む県産品のブランド価値を守るため、中国等における商標の出願や登録状況の監視を行うとともに、商標冒認出願対策に関する啓発セミナーを開催した。</p> <p>これにより、商標冒認出願対策の強化が図られるとともに、関係団体、業界の危機意識が高められた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商標冒認出願の監視 毎月 ・商標冒認出願調査 平成22年5月～23年2月 ・啓発セミナー 平成22年5月

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
4 地域資源等を活用した新商品開発への支援 【産業支援課】	—	<p>新たなやまなしブランドの創出を促進するため、中小企業による地域資源を活用した新商品開発や、農林漁業者と商工業者の連携による新商品・新サービスの開発を支援した。</p> <p>これにより、平成22年までに認定された地域資源活用事業計画は累計で16件、農商工等連携事業計画は累計で10件になるなど、県内中小企業の商品開発、販路開拓に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域資源基本構想の変更 平成22年11月30日 ・地域資源活用事業計画の策定支援・認定 1件 ・農商工等連携事業計画の策定支援・認定 2件
5 富士山ブランドの推進 【産業支援課】	商工総務費 (118) 118	<p>富士山ブランドを確立するため、富士山ロゴマークの普及を図るとともに、ロゴマークを取り込んだ地場産品を「御当地ブランド」として全国へ情報発信し、販路拡大を図った。</p> <p>これにより、これまでに、ロゴマークの使用承認29件、個別承認7件、HP掲載商品80品目となり、地場産品の販路拡大に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページによる情報発信(更新 平成23年3月) ・ロゴマークの使用承認 29件
6 やまなしブランドチャレンジへの支援 【産業支援課】	商工総務費 (12,000) 11,623	<p>中小企業のグループ等が新たなやまなしブランドづくりに積極的に挑戦できるよう、これらの企業が行う産地ブランドの形成や販路の開拓、海外への展開などの取り組みに対して支援した。</p> <p>これにより、平成19年度から35件の支援を実施し、新たな販路の開拓などに寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産地ブランドの形成、販路開拓、海外展開への支援 11件
7 ワインやまなしブランドの促進 【産業支援課】	商工総務費 (7,505) 6,868	<p>ワイン産地山梨のブランドイメージの確立と販路開拓を促進するため、国内外での商談会等の販路開拓事業を支援し、ブランドイメージのさらなる向上を図った。</p> <p>また、ロンドンでのトップセールスでは、ワイン関係ジャーナリストなど200人以上が参加し、ワインやまなしブランドの確立に向け寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏試飲・商談会の開催支援 平成22年12月 ・英国ロンドンでの甲州ワインプロモーション 平成23年1月

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
8 繊維やまなし ブランドの促進 【産業支援課】	商工総務費 (9,000) 6,444	<p>本県を代表する繊維産業の産地ブランドを確立するため、協同組合が行うやまなしブランド製品の開発や販路開拓などの取り組みに対して支援した。</p> <p>これにより、「ふじやま織」、「フジ・ファソネ」、「糸の音」、「甲斐絹座」、「阿吽・蜻蛉」の各ブランドが立ち上がるなど、繊維やまなしブランドの確立に向け寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新製品の開発、販路開拓等への支援 ・「インターテキスタイル上海」出展支援 平成22年10月 ・「インテリアライフスタイルリビング」出展支援 平成22年11月 ・「やまなしネクタイフェア」開催支援 平成23年2月 ・異業種交流「若手デザインゼミ」実施支援 平成22年7月～23年3月
9 ワイン産地確 立の推進 【産業支援課】 【果樹食品流通課】	商工振興費 (5,164) 5,008 果樹園芸等振興費 (13,155) 11,554	<p>ワイン産地山梨のブランド力の相対的な低下をくい止め、世界一流のワイン産地としての地位を確立するため、県産ワインの高品質化、ブランド化、消費拡大に向けての取り組みを推進した。</p> <p>これにより、国産ワインコンクールなどでの県産ワインの評価が高まるとともに、東京・日比谷でのキャンペーンでは、来場者数が、8,000人を上回るなど、ワイン産地山梨の認知度向上に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワイナリーの栽培・醸造技術向上への支援 醸造技術重点指導の支援 対象ワイナリー5社 ・県産醸造用ぶどうの高品質化の推進 栽培エキスパートの養成 フランス研修1人 平成21年1月～ ・県産ワイン高品質化の推進 若手醸造家・農家研究会開催支援 ・山梨ヌーボーまつりの開催支援 山梨ヌーボーまつり 平成22年11月 県産ワインキャンペーン 各種メディア
10 県産果実の輸 出戦略プラン の推進 【果樹食品流通課】 【農産物販売戦略室】	果樹園芸等振興費 (11,793) 9,798	<p>県産果実の販路拡大を図るため、関係団体が実施する輸出プロモーション活動や情報収集活動を支援した。また、農協が実施する検疫措置に対応できる選果体制の整備を支援した。</p> <p>これにより、輸出数量は239tとなり、前年度と比較して3.2%増加するなど、県産果実の輸出拡大に寄</p>

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
11 県産農産物の 販売対策の強 化 【農産物販売戦略室】	農業総務費 (700) 538	<p>与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・果樹王国やまなし輸出戦略プランの推進 ・輸出プロモーション活動の推進 シンガポールバイヤー招へいによる産地PRの 実施 平成22年10月 テスト輸出の促進 台湾、香港、シンガポール、タイ ・輸出向け果実選果体制整備への支援 発生予察資材等の整備 2JA、21施設 <p>果実を中心とした県産農産物の国内外での競争力の強化とブランド確立のため、総合的な販売戦略を策定するとともに、戦略に基づく効果的な販売促進活動を推進した。</p> <p>これにより、生産から流通、販売に係わる関係者の意識統一が図られ、効率的な活動の展開に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県産農産物販売戦略の推進 やまなし農産物販売戦略推進方針の説明 3回 方針を踏まえた産地交流会・商談会の開催 平成22年6月 ・マーケティング活動等の推進 中京、関西、九州市場等でのマーケティング実施
12 県産銘柄畜産 物の販路拡大 【畜産課】	畜産振興費 (2,000) 1,040	<p>甲州牛やフジザクラポーク等の県産銘柄食肉の販路を拡大するため、食肉販売戦略協議会を開催し、県外での認知度向上に向けた取り組みを支援した。</p> <p>これにより、国内や海外で県産銘柄畜産物がPRされ、知名度の向上や生産者の生産意欲向上にも寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やまなしブランド食肉販売戦略協議会の開催 会議開催 3回(平成22年5月、平成23年1月、3月) ・甲州牛の京浜地区への販路拡大に対する支援 甲州牛PR用DVDの作成(200枚) 甲州牛販売促進用シール、ポスターの作成 ・フジザクラポークの香港輸出への支援 輸出に係る商談実施 平成23年2月

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
13 国産ワインコンクールの開催支援 【産業支援課】	商工総務費 (7,000) 5,266	<p>国産ワインの品質と認知度の向上を図るとともに、ワイン産地山梨の地位を将来にわたり確固たるものとするため、関係団体が実施する国産ワインコンクールの開催を支援した。</p> <p>これまでに県産ワインは、金賞 42 銘柄、銀賞 225 銘柄など合計 1,110 銘柄が受賞するなど、ワイン産地山梨の名を大いに高めることに寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国産ワインコンクールの開催支援 審査会（出品数 690 本） 平成 22 年 7 月 表彰式・公開テイスティング（受賞数 345 本） 平成 22 年 8 月
14 山梨県オリジナル品種の普及推進 【果樹食品流通課】	果樹園芸等振興費 (400) 400	<p>オリジナル品種の産地化と市場への定着を促進するため、オリジナル品種ブランド化推進会議が実施するブドウ「サニードルチェ」の苗木増殖と、モモ「夢しずく」及びスモモ「サマービュート」、「サマーエンジェル」のPR活動等を支援した。</p> <p>これにより、オリジナル品種の生産量が 704 t、前年度と比較して 187%となるなど、県オリジナル品種の速やかな普及と販路拡大に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリジナル品種の産地化推進 苗木の確保増殖 1,653 本 PRポスター等の作成と配布、試食宣伝会の開催
15 食のやまなし販売促進への支援 【果樹食品流通課】 【農産物販売戦略室】	農業総務費 (14,000) 14,000	<p>本県農産物のイメージアップと消費拡大を図るため、山梨県農畜産物販売強化対策協議会が実施する、「知事のトップセールス」や「県オリジナル品種、有望品種、特選農産物」の効果的なPRの取り組みを支援した。</p> <p>また、知事のトップセールス 2 回、県オリジナル品種・有望品種のブランド化への活動を 17 回実施するなど、県産農産物の知名度向上に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大消費地市場等でのトップセールス 平成 22 年 7 月 (大阪市中央卸売市場、札幌市中央卸売市場) ・県産青果物市場懇談会の開催支援 平成 22 年 7 月 ・ホームページによる全国への情報発信

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
16 やまなし特選農産物の認証 【農産物販売戦略室】	農業総務費 (441) 177	<p>本県農産物のブランド化を推進するため、高品質な農畜産物に一定の基準を設け、全国に誇りうるやまなし特選農産物として認証し、普及・宣伝活動を行った。</p> <p>また、平成22年度までに出荷認証団体を66団体認証し、本県農産物のトップブランドとして消費者等にPRするなど、本県農産物全体のイメージアップに寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特選農産物の出荷の拡大 出荷団体 17 団体 ・関係団体との連携による普及・宣伝活動 平成22年6月～23年2月 京浜・関西地区の主要卸売市場 ・取扱認定店の指定 24 店舗
17 県産材のブランド化による販路拡大 【林業振興課】	林業振興指導費 (430) 430	<p>県産材の生産力を高め、利用を促進していくため、生産地や加工・流通履歴を明確にする「県産材認証制度」等によるブランド化を図り、住宅建築への利用拡大を進めた。</p> <p>これにより、県産材を取り扱う登録事業者は平成16年度の36社から65社に増加し、県産材の販路拡大に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県産ラベリング材の普及促進 認証システム登録事業者新規認定数 8 件 認証システム登録事業者年次審査数 68 件
18 ジュエリーややまなしブランドの促進 【産業支援課】	商工総務費 (26,000) 3,929 [22,000]	<p>ジュエリー産業における産地ブランドの確立と販路開拓を図るため、関係団体を実施する宝飾展「輝きの祭典」における「産地ブランド新製品」の発表・販路拡大活動に対して支援した。</p> <p>これにより、産地ブランド「Koo-fu」が立ち上がり、伊勢丹・三越などの一流百貨店での取扱いが実現し、ジュエリーの「やまなしブランド」の確立に寄与した。</p> <p>また、電子商取引（Eコマース）のビジネススキルを確実に上げるため、実践に基づくセミナーの開催を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新製品等の販路開拓等への支援 輝きの祭典（甲府ジュエリーフェア&大宝飾展） 平成22年4月 ・セミナー開催への支援 参加者 延べ35人

「チャレンジ山梨行動計画」 政策別実施状況

基本 目標	2	「力みなぎる・やまなし」の実現
----------	---	-----------------

政策	2	未来につながるはつらつとした農業の振興	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	17	
<p>【政策推進に当たっての基本的考え方】 本県では、果樹を中心に、高度な技術に立脚した収益性の高い農業が営まれています。また、四季折々を彩る素晴らしい農村景観が形成されています。 こうした優れた農業の一層の振興を図り、全国に誇りうる農村景観を保全していくため、担い手の確保・育成や大消費地への販路拡大、地産地消、鳥獣害防止対策への取り組みを進めます。</p>					
	項	目	頁	担当部局	
平成22年度の主な取り組み状況		○ やまなし農業ルネサンス大綱の推進	P.28	農 政 部	
		○ 果樹園の整備	P.28	農 政 部	
		○ 企業的農業経営の推進	P.28	農 政 部	
		○ 農業協力隊の就農推進	P.29	農 政 部	
		○ 企業の農園づくりの推進	P.29	農 政 部	
		○ 耕作放棄地の再生活用の促進	P.30	農 政 部	
		○ モデル産地のGAP実践支援	P.30	農 政 部	
		○ 農産物直売所の活性化支援	P.31	農 政 部	
		○ アグリビジネスモデルの実践支援	P.31	農 政 部	
		○ 電気柵等の鳥獣害防止施設の整備	P.32	農 政 部	
事業費	行動計画の事業費（4年間の計画額）			26,901 百万円	
	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）			28,592 百万円	
	前年度までの事業費			20,744 百万円	
	本年度の事業費			7,848 百万円	
数値目標の達成状況	数 値 目 標 の 名 称	基 準 値 (基準年度) A	目 標 値 (目標年度) B	現 況 値 (直近データ) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A} \times 100\right)$
	新規就農者数	71 人 (H18)	100 人 (H22)	119 人 (H22)	165.5
	農産物直売所の販売額	3,500 百万円 (H18)	5,000 百万円 (H22)	4,852 百万円 (H22)	90.1

主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
1 「やまなし農業ルネサンス大綱」の推進 【農政総務課】	—————	<p>将来に期待が持てる農業の確立と農村の活性化を図り、山梨の農業を再生するため、10年先を目標とする振興指針である「やまなし農業ルネサンス大綱」を推進した。</p> <p>目標達成に向け、大綱の進行管理を行い、計画的な事業推進等が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「やまなし農業ルネサンス大綱」の推進 やまなし農業ルネサンス大綱推進会議の開催 4回
2 果樹生産基盤の再生の推進 【果樹食品流通課】 【耕地課】	<p>果樹園芸等振興費 (420) 125</p> <p>土地改良費 (60,000) 12,686</p>	<p>果樹産地における生産性の向上や担い手への農地集積を図るため、地区ごとに再生整備実施計画の策定を支援し、生産基盤の再生に向けた取り組みを行った。</p> <p>これにより、25地区80haで基盤整備に向けた合意形成が図られ、42haで果樹園の整備が行われるなど、果樹の生産基盤の再生に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 果樹生産基盤再生整備計画の策定支援 80ha 果樹園の整備 42ha
3 企業の農業経営の推進 【農村振興課】 【担い手対策室】	<p>農業改良普及費 (4,600) 4,505</p> <p>土地改良費 (50,000) 45,000 [5,000]</p>	<p>効率的な農業経営が可能となる経営体を育成するため、農業経営体の大規模化への支援に加え、経営能力や人材等を備える企業の参入を促進した。</p> <p>これにより、大規模農業経営体として4経営体を育成するとともに、建設業者など13企業が新規に農業参入するなど、企業の農業経営の推進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 大規模農業経営体の育成 4法人 参入企業に対する支援 農業参入相談活動 延べ110件 農業参入セミナーの開催 平成23年2月 農業生産基盤整備への支援 韮崎地区 外8地区
4 就農支援対策の強化 【農業技術課】 【担い手対策室】	<p>農業改良普及費 (8,353) 8,095</p> <p>農業大学校費 (508,584) 415,934 [36,000]</p>	<p>地域農業の維持・発展のため、青年農業者や退職帰農者、Uターン就農希望者など多様な担い手の確保・育成に努めた。</p> <p>これにより、119人が新規に就農するなど、新たな担い手の確保に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 就農相談窓口のワンストップ化のための就農支援センターの運営 相談会の開催 11回(県内6回、県外5回) 農業大学校の再編整備 本館建て替え工事

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
5 農業協力隊の 就農推進 【担い手対策室】	農業総務費 (117,431) 107,250	<p>新たな農業の担い手を確保・育成するため、就農を前提に農村に移住し、農業生産活動や地域活動を行う都市住民等を農業協力隊員として委嘱し、その活動を支援した。</p> <p>これにより、首都圏の住民等 40 名が県内の 24 支援機関において農業生産活動や地域活動を行うなど、新規就農者の確保に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協力隊員の募集・選考、活動支援 ・コーディネーターの委嘱 ・支援機関の委嘱 ・農業協力隊サポート会議の開催
6 企業の農園づ くりの推進 【担い手対策室】	農業改良普及費 (1,000) 962	<p>農地等の有効活用と集落等の活性化を図るため、社会貢献活動などによりイメージアップを図りたい企業等と農村等との協働による「企業の農園づくり」を推進した。</p> <p>これにより、県内外の 6 企業が新規に農園づくりに参加し、耕作放棄地の解消や地域活力の向上に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業向け説明会の開催 ・企業訪問による仲介活動の実施
7 農業生産基盤 の整備推進 【耕地課】	土地改良費 (9,467,303) 6,440,509 [3,026,794]	<p>果樹をはじめとするやまなしの農業を発展させるため、農作物の栽培や出荷に適した基盤整備を推進し、果樹栽培を中心とした日本一の農業を目指した。</p> <p>これにより、畑地帯の総合整備で 178 ha、基幹農道で 5 地区の整備が行われるなど、産地基盤の強化、農産物輸送の合理化や沿線農地の利便性向上が図られ、効率的な農業経営に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・畑地帯の総合的な整備 178 ha 明野地区 外 29 地区 ・基幹農道の整備 茅ヶ岳東部地区 外 4 地区

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
8 耕作放棄地の 再生活用の促 進 【農村振興課】	農業総務費 (3,640) 954 土地改良費 (54,038) 44,888 農地調整費 (4,000) 4,000	<p>優良農地を確保し、農村景観の保全を図るため、市町村の実施する耕作放棄地解消に向けた地域の自主的な取り組みに対し、国の交付金制度の活用推進やほ場整備等への支援を実施した。また、高齢化等により耕作が困難となった果樹園等を担い手に引き渡すまでの間、維持管理を行う「農地活用サポートセンター」の設置を支援し、耕作放棄の未然防止対策を推進した。</p> <p>これにより、耕作放棄地の解消が着実になされるとともに、耕作放棄発生 of 未然防止に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交付金制度説明会、意見交換会 31回実施 ・耕作放棄地解消促進事業 3地区で実施 ・耕作放棄地等再生整備支援事業 19地区で実施 ・「農地活用サポートセンター」の設置、活動支援 1地区
9 環境保全型農 業への支援 【農業技術課】	農業改良普及費 (11,943) 9,993	<p>農業生産における環境負荷を軽減し、環境保全型農業の発展を図るため、地域における化学肥料・化学農薬を低減する取り組みを支援した。</p> <p>農地・水・環境保全向上対策の営農活動については、10地区、207haの減化学肥料・減化学農薬の取り組みを支援し、環境保全型農業の推進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農地・水・環境保全向上対策による営農活動の実施 207ha
10 G A Pの導入 推進 【農業技術課】	農業改良普及費 (1,957) 1,364	<p>消費者に信頼される農産物を生産・供給するため、農作業内容の工程を管理する手法である「GAP」の導入や農薬の適正使用を推進した。</p> <p>これにより、安全・安心な農産物を生産・供給するための体制整備に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モデル産地のGAP実践支援 4産地 ・県推進会議、プロジェクトチーム会議の開催 ・残留農薬調査の実施 30検体
11 有機農業導入 の推進 【農業技術課】	総合農業技術センター費 (3,437) 2,847	<p>有機農業に多くの農業者が取り組めるよう、推進協議会の開催や実証ほの設置及び販路開拓支援を行うとともに、有機栽培技術の研究・実証を進めた。</p> <p>また、総合農業技術センターにおいては、キャベツなど、葉・茎・根菜類3品目で、栽培技術を確立し、県内の有機栽培農家の育成に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山梨県有機農業推進協議会の開催 年2回 ・実証ほ 3箇所、販路開拓支援 3集団 ・有機栽培技術の研究・実証 3品目

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
12 農業普及指導 活動の充実・ 強化 【農業技術課】	農業改良普及費 (39,253) 32,675	<p>農業経営や栽培技術等に係る、農業者からの相談に一層応えられるよう、地域の業務内容等に対応する人員を再配置するとともに、農家の問い合わせ先の明確化を図り、普及指導を行った。</p> <p>これにより、高品質・安定生産技術の普及や多様な担い手の確保・育成、やまなしブランドの確立など、本県農業の維持・発展に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普及活動第三者評価の実施 2日間 ・普及指導だより発行 6回 ・普及指導用機材の整備 PHメーター他 ・地域に適応した新技術の実証 20課題 ・普及指導員資質向上研修の実施 国派遣研修 40人
13 やまなし農産物 地産地消の 推進 【果樹食品流通課】	農業総務費 (377) 284	<p>県産農産物の消費拡大を図るため、県内にあるファーマーズマーケット（直売所）の販路開拓等を支援するとともに、理解促進のための県民運動を進めた。</p> <p>これにより、農産物直売所における農産物の販売額が48億5千万円、前年度と比較して7%の増加、搬入農家数が12,384戸、前年度と比較して12%の増加となるなど、県産農産物の地産地消に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地産地消推進大会の開催 1回 ・魅力創造講座の開催 2回
14 県立病院の食事 への県内農産物 の使用率の向上 【医 務 課】	—————	<p>地産地消の推進を図るため、県立病院が入院患者に提供する食事への県内農産物の優先的な使用に努め、県内農産物の使用率の向上に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県立中央病院、県立北病院における優先使用の推進
15 アグリビジネス モデル確立へ の支援 【果樹食品流通課】 【農産物販売戦略室】	農業総務費 (2,900) 2,583	<p>高収益な農業経営を展開し、産地の活性化を促進するため、農作物の生産から加工・流通販売までを一体的に捉え、新たなビジネスとして創出する取り組みを支援した。</p> <p>これにより、新たに4商品が開発され、10団体が展示商談を行うなど、生産から流通・販売を一体的に捉えたアグリビジネスの推進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アグリビジネスモデルの実践支援 4モデル ・地域戦略会議の開催 延べ6回 ・展示商談会への出展支援 県内外延べ3回、10団体

施策・事業名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
16 野生鳥獣の保護管理の推進 【みどり自然課】	鳥 獣 管 理 費 (57,680) 55,053	<p>野生鳥獣による農林業被害の防止と生態系の保全を図るため、管理捕獲を実施するなど、特定鳥獣の保護管理を推進するとともに、鳥獣捕獲従事者の育成事業に対して支援した。</p> <p>これにより、ニホンジカ、イノシシ、ニホンザルを合わせて5,067頭捕獲するとともに、鳥獣捕獲従事者育成のため延べ36回研修を開催するなど、特定鳥獣の保護管理の推進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 管理捕獲への支援 25市町村、1恩賜県有財産保護組合 鳥獣捕獲従事者の育成、技術講習会の開催 銃猟研修12回、わな研修12回、ニホンザル捕獲研修12回 生息数等に係るモニタリング調査の実施 対象 ニホンジカ、イノシシ、ニホンザル ニホンジカ個体数調整捕獲 高標高域での管理捕獲の実施
17 鳥獣害防止対策の強化 【農業技術課】 【耕地課】	農業改良普及費 (32,564) 32,493 総合農業技術センター費 (3,000) 2,876 土地改良費 (787,524) 505,197 [282,327]	<p>野生鳥獣による農作物への被害を防止するため、地域ぐるみによる防止対策の推進を図るとともに、効果的な被害防止施設の整備を支援した。</p> <p>これにより、電気柵等の鳥獣害防止施設を64km整備するなど、農業者の営農意欲を高め、耕作放棄地の減少などに寄与した。また、低コストで多獣種に対応した電気柵の開発・改良を行うとともに、モンキー犬等新たな防止対策への支援など、農家の経営安定にも寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 鳥獣害防止総合計画の促進 26市町村 鳥獣害防止技術指導員に対する研修会の開催 年3回 電気柵等の鳥獣害防止施設の整備 延長64km 対象 ニホンジカ、イノシシ、ニホンザル

「チャレンジ山梨行動計画」 政策別実施状況

基本 目標	2	「力みなぎる・やまなし」の実現
----------	---	-----------------

政策	3	健全な森づくりと力強い林業の振興	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	16	
<p>【政策推進に当たっての基本的考え方】 県土面積の約78%を占める森林は、木材の供給をはじめ県土の保全、水源のかん養、地球温暖化の防止など多面的機能を有しており、豊かで潤いのある県民生活の礎になっています。しかし、その機能の発揮のために重要な役割を果たす林業生産活動が停滞していることから、森林の荒廃が懸念されています。このため、県産材の地産地消や販路の拡大などを進め、林業の振興を図るとともに、森林の有する多面的機能が十分に発揮されるよう豊かな森づくりを進めます。</p>					
平成22年度の主な取り組み状況	項 目		頁	担当部局	
	○ 造林の実施、支援		P.34	森 林 環 境 部	
	○ 保安林の改良、保育		P.34	森 林 環 境 部	
	○ 公的関与による森林整備の実施		P.34	森 林 環 境 部	
	○ 路網整備の推進		P.35	森 林 環 境 部	
	○ 林業新規就労者の参入促進		P.35	森 林 環 境 部	
	○ 緑の産業再生プロジェクトの促進		P.35	森 林 環 境 部	
	○ 水源環境保全・再生に係る神奈川県との連絡協議会開催		P.36	森 林 環 境 部	
	○ 森林保全等に向けた新税の導入検討		P.36	森 林 環 境 部	
	○ 企業や団体による森づくり活動に対する支援		P.36	森 林 環 境 部	
	○ 恩賜林御下賜100周年記念事業プレイベントの開催		P.37	森 林 環 境 部	
○ 第2次県有林管理計画の策定		P.37	森 林 環 境 部		
事業費	行動計画の事業費（4年間の計画額）			20,738 百万円	
	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）			26,650 百万円	
	前年度までの事業費			17,614 百万円	
	本年度の事業費			9,036 百万円	
数値目標の達成状況	数 値 目 標 の 名 称	基 準 値 (基準年度) A	目 標 値 (目標年度) B	現 況 値 (直近データ) C	進 捗 率 (%) $\left(\frac{C-A}{B-A}\right) \times 100$
	素材生産量	56 千 m ³ (H17)	73 千 m ³ (H22)	148 千 m ³ (H22)	541.2

主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
<p>1 造林事業の推進</p> <p>【森林整備課】 【県有林課】</p>	<p>林業振興指導費 (38,320) 36,334</p> <p>造林費 (924,664) 650,231 [274,433]</p> <p>計画調査費 (7,473) 7,377</p>	<p>森林の有する多面的機能の発揮のため、民有林及び県有林において計画的に間伐などの森林整備を推進した。</p> <p>これにより、県土の保全等に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林整備（造林等）の実施、支援 3,010 ha <ul style="list-style-type: none"> 県有林 1,243 ha（甲府市 外 19 市町村） 民有林 1,767 ha（甲府市 外 25 市町村）
<p>2 保安林整備事業の推進</p> <p>【県有林課】 【治山林道課】</p>	<p>治山費 (315,803) 315,803</p>	<p>保安林の適正な管理を行い、公益的機能を高度に発揮させるため、植栽、本数調整伐、下刈り等を推進した。</p> <p>これにより、水源のかん養機能及び土砂の流出防備などの機能強化に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保安林の改良 154 ha ・保安林の保育 793 ha <p>保安林の状況（平成 23 年 3 月末現在）</p> <ul style="list-style-type: none"> 水源かん養保安林 163,975 ha 土砂流出防備保安林 34,932 ha 土砂崩壊防備保安林 14 ha その他保安林 1,618 ha
<p>3 環境公益林整備の推進</p> <p>【森林整備課】</p>	<p>造林費 (116,498) 116,498</p>	<p>水源かん養等公益的機能を高度に発揮させるため、手入れ不足により荒廃した私有林を公的関与により整備した。</p> <p>これにより、地球温暖化防止に資する森林吸収源対策等に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公的関与による森林整備（間伐等）の実施 539 ha 環境公益林整備支援事業の実績 4,385 ha（平成 18 年度～平成 22 年度）
<p>4 低コスト間伐システムの推進</p> <p>【森林整備課】</p>	<p>—————</p>	<p>間伐を推進するため、低コストで耐久性の高い作業路の整備とともに、技術者の養成を行った。</p> <p>これにより、作業路開設に必要な人材の育成、間伐を行う際の所有者の負担軽減に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡易作業路作設士の認定 6 人（累計 30 人） 作業路研修会の開催 平成 22 年 9 月～10 月 延べ 15 日間

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
5 松くい虫防除 対策の促進 【森林整備課】	林業振興指導費 (54,740) 54,740 造林費 (98,114) 98,114	松くい虫による被害を防除するため、駆除及び予防 対策を進めた。 これにより、県土の松林の保全に寄与した。 ・伐倒駆除 7,984 m ³ ・樹幹注入 4,795 本
6 路網整備の推 進 【森林整備課】 【県有林課】 【治山林道課】	林道費 (2,964,554) 1,756,577 [1,207,977] 造林費 (168,882) 155,909 [12,973]	森づくりを支える山村の活性化と効率的な林業を推 進するため、林内路網を整備し、林業生産性の向上に 向けた取り組みや、山村地域の活性化に寄与した。 ・林道の新設 林道三石山線外 21 路線 延長 10.9 km ・林道の改良、舗装 林道小武川線外 21 路線 延長 11.8 km ・作業道等の整備 甲府市上帯那地区外 20 路線 延長 7.3 km
7 担い手確保対 策の推進 【林業振興課】	林業振興指導費 (33,233) 30,370	森林整備の担い手である林業労働者の確保のため、 労働環境の整備を図るとともに森林組合等林業事業体 の育成を図った。また、低コスト施業システム構築の ため、高性能林業機械の利用を促進した。 これにより、林業従事者の労働環境の改善等に寄与 した。 ・新規就労者の参入促進 52 人 ・労働安全衛生研修会の開催 4 回 ・森林組合の指導・育成 11 組合 ・高性能林業機械の利用促進 25 台
8 緑の産業再生 プロジェクト の促進 【森林整備課】 【林業振興課】	林業振興指導費 (616,469) 364,559 [250,559] 造林費 (425,466) 218,167 [206,768]	県に基金を設置し、間伐や路網整備、間伐材の流通 円滑化などの事業を、地域が一体的に進めるための取 り組みに対して総合的に支援した。 これにより、間伐等の森林整備の一層の促進と間伐 材などの森林資源を活用した林業・木材産業の支援等 地域産業の再生に寄与した。 ・山梨県森林整備加速化・林業再生基金の設置、運用 ・山梨県森林整備加速化・林業再生協議会の開催 平成 22 年 6 月 ・間伐、路網整備事業等の促進 間伐 566 ha、林内路網整備 8,247 m ・高性能林業機械の導入 2 台 ・木造公共施設等整備 11 施設

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
9 県産材の安定供給と新たなマーケットの開拓 【林業振興課】	林業振興指導費 (241) 241	<ul style="list-style-type: none"> ・間伐材安定供給コスト支援 10,730m³ ・地域材利用開発 1件 <p>県産材の安定供給を促進するため、県内3流域の拠点を中心に需給情報の分析、提供を進めるとともに、他県との連携による広域流通対策や販売促進活動などを推進した。</p> <p>これにより、新たな供給先の確保を行い、県産材の需要拡大に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・流域木材安定供給協議会の開催 3協議会 6回 ・素材流通協議会の開催 1協議会 4回
10 神奈川県との相互連携の推進 【森林環境総務課】	——	<p>桂川・相模川流域の水源環境保全・再生を図るため、山梨県及び神奈川県の連携のもと、流域の森林保全や生活排水対策について検討するなど必要な取り組みを進めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「水源環境保全・再生に係る山梨県と神奈川県との連絡協議会」の開催 平成22年10月
11 森林保全等に向けた新税の導入検討 【森林環境総務課】	林業総務費 (3,675) 0 [3,675]	<p>多様な公益的機能を有する森林を県民全体で守り育て、次の世代に引き継いでいくため、森林保全等に向けた新税の導入について検討した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林保全の必要性等の周知を図るとともに、新税の用途等について県民の意向を反映させるための「県民意向調査」の検討・準備
12 企業や団体による森づくり活動の推進 【みどり自然課】	——	<p>企業や団体をはじめ、県民総参加による森づくりを推進するため、森づくり活動の相談窓口として「やまなし森づくりコミッション」が行う、関係機関との連絡調整や活動場所の紹介、森づくりに関する企画の提案等の活動に対して支援した。</p> <p>これにより、森づくり活動に参加した企業が、前年度と比較して9企業増加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業や団体による森づくり活動に対する支援 47箇所

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
13 県産材の地産地消の推進 【林業振興課】	林業振興指導費 (43,640) 43,536	木のぬくもりに満ちた快適な環境を提供するため、県産材住宅の利用促進等の取り組みに対して支援した。これにより、県産ラベリング材の流通が活発になるなど、県産材の地産地消に寄与した。 ・県産材の住宅建築への利用促進 県産柱・内装材の提供戸数 47戸 県産材の需要拡大活動募集 7団体 ・大型木造公共施設の建設 1施設
14 間伐材の有効利用の促進 【治山林道課】	治山費 (4,820,421) 4,069,687 [750,734]	間伐材の需要拡大のため、未利用小径木を治山工事の型枠として使用するなど、間伐材の有効利用を進めた。 また、間伐材の利用にあたっては、型枠材として2,075 m ³ を使用し、有効利用に寄与した。 ・木製治山ダム型枠の施工 112基
15 恩賜林御下賜100周年記念事業の実施 【森林環境総務課】	総務費 (恩賜県有財産特別会計) (13,405) 13,332	平成23年度の恩賜林御下賜100周年記念事業のイベントとして、恩賜林の歴史や役割などについて考え、今後の森づくりの契機となるよう、各種事業を実施した。 これにより、恩賜林をはじめ森林の大切さなどについて、県民の理解の促進に寄与した。 また、御下賜100周年記念誌の発刊に向けた準備を行った。 ・PRキャラバン活動の実施 9箇所 ・新聞特集記事の掲載(知事と有識者の対談) ・県民自主企画応援事業 14団体 ・記念誌発刊に向けた編纂作業
16 県有林の適正な管理・経営の推進 【県有林課】	計画調査費 (9,584) 5,993 [3,591]	県有林管理計画の見直し、国のJ-VER制度に基づくオフセット・クレジットの創出などに取組み、県有林の適正な管理・経営を推進した。 ・第2次県有林管理計画の策定 ・オフセット・クレジットの取得 25千t-CO ₂

「チャレンジ山梨行動計画」 政策別実施状況

基本 目標	2	「力みなぎる・やまなし」の実現
----------	---	-----------------

政策	4	地域とくらしを豊かにする中小企業の振興	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	18	
<p>【政策推進に当たっての基本的考え方】 魅力ある地域社会を築き、県民の豊かな暮らしを実現していくためには、県内経済の活性化が不可欠です。また、経済の成長なくして、県財政の再建はありません。活力ある山梨経済の実現に向け、本県に集積する機械電子工業や地場中小企業の技術力の向上や製品開発・受注機会の拡大に向けた取り組みなどを推進し、県内産業の振興を図ります。</p>					
平成22年度の主な取り組み状況	項 目		頁	担当部局	
	○ 商工業振興資金の融資		P.40	産業労働部	
	○ 経済変動対策融資の拡充		P.40	産業労働部	
	○ 中小企業の事業化サポートへの支援		P.40	産業労働部	
	○ ものづくり産業の新技术・新製品の開発への支援		P.40	産業労働部	
	○ 中小企業サポートセンターへの支援		P.41	産業労働部	
	○ 中央自動車道沿線広域産業連携の推進		P.42	産業労働部	
	○ 職業能力開発施設の充実・強化		P.42	産業労働部	
	○ 技術系人材の確保・育成アクションプランの推進		P.43	産業労働部	
	○ 宝石美術専門学校の移転整備		P.44	産業労働部	
事業費	行動計画の事業費（4年間の計画額）			96,555 百万円	
	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）			83,992 百万円	
	前年度までの事業費			58,220 百万円	
	本年度の事業費			25,772 百万円	
数値目標の達成状況	数 値 目 標 の 名 称	基 準 値 (基準年度) A	目 標 値 (目標年度) B	現 況 値 (直近データ) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A}\right) \times 100$
	従業員1人当たりの製造品出荷額等 (従業員数4~299人の事業所)	2,258 万円 (H18)	2,542 万円 (H22)	2,081 万円 (H21)	△ 62.3

主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果																								
<p>1 中小企業への金融支援</p> <p>【商業振興金融課】</p>	<p>資金貸付金 (商工業振興) 資金特別会計</p> <p>(9,460,478) 8,624,581</p> <p>小規模企業者等設備 導入資金貸付金 (中小企業近代化) 資金特別会計</p> <p>(1,650,000) 550,829</p> <p>県単独中小企業設備 貸与資金貸付金 (中小企業近代化) 資金特別会計</p> <p>(500,000) 234,735</p>	<p>中小企業者の経営の安定化を図るため、金融機関と連携し、事業活動に必要な資金の貸付や設備貸与を行った。これにより、負債額1千万円以上の企業倒産は、平成21年度と比較して、件数で33件、負債総額で25億円余減少するなど、中小企業の資金繰りに寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商工業振興資金の融資 2,770件 22,327,778千円 ・経済変動対策融資の拡充(上記の内数) 2,071件 19,546,932千円 <p style="text-align: right;">(千円)</p> <table border="1" data-bbox="678 689 1428 1142"> <thead> <tr> <th>資金名</th> <th>予算額</th> <th>決算額</th> <th>融資額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経営安定資金</td> <td>8,690,477</td> <td>8,483,042</td> <td>21,916,258</td> </tr> <tr> <td>地場中小企業等育成資金</td> <td>400,000</td> <td>28,601</td> <td>82,800</td> </tr> <tr> <td>新産業開発資金</td> <td>286,667</td> <td>72,081</td> <td>230,670</td> </tr> <tr> <td>環境・雇用対策資金</td> <td>83,334</td> <td>40,857</td> <td>98,050</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>9,460,478</td> <td>8,624,581</td> <td>22,327,778</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・小規模企業者等設備導入資金による設備のリース等 113件 1,741,210千円 	資金名	予算額	決算額	融資額	経営安定資金	8,690,477	8,483,042	21,916,258	地場中小企業等育成資金	400,000	28,601	82,800	新産業開発資金	286,667	72,081	230,670	環境・雇用対策資金	83,334	40,857	98,050	合計	9,460,478	8,624,581	22,327,778
資金名	予算額	決算額	融資額																							
経営安定資金	8,690,477	8,483,042	21,916,258																							
地場中小企業等育成資金	400,000	28,601	82,800																							
新産業開発資金	286,667	72,081	230,670																							
環境・雇用対策資金	83,334	40,857	98,050																							
合計	9,460,478	8,624,581	22,327,778																							
<p>2 中小企業の事業化サポートへの支援</p> <p>【産業支援課】</p>	<p>商工総務費</p> <p>(15,000) 14,529</p>	<p>中小企業が抱える経営革新、研究開発、販路開拓等の課題を解決するため、外部専門家によるサポート体制を整備し、新事業の立ち上げから市場獲得までを総合的に支援した。</p> <p>これにより、96件の事業化をきめ細かく支援するとともに、市場開拓等に活用できる補助金を交付するなど、中小企業の新規事業化に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトマネージャーによる支援 ・市場調査の実施等への助成 9件 																								
<p>3 ものづくり産業への支援</p> <p>【産業支援課】</p>	<p>商工総務費</p> <p>(63,281) 61,570</p>	<p>中小企業の製品開発・受注機会の拡大を図るため、新技術・新製品の研究開発に対して支援するとともに、新技術開発に向けた産学官の連携を強化した。</p> <p>これにより、平成19年度以降、36件2億3千54万3千円を助成し、中小企業の新技術・新製品の開発に向けた取り組みに寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新技術・新製品の開発への支援 5件 ・産学官連携で行う新技術・新製品の開発への支援 6件 																								

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
4 中小企業サポートセンターへの支援 【産業支援課】	商工総務費 (83,537) 77,888	<p>中小企業の受注機会の拡大や、新商品・新サービス開発等の取り組みを促進するため、中小企業サポートセンターが行う総合的な相談支援体制の整備などに対して支援した。</p> <p>これにより、平成18年度以降、企業からの相談件数が11,278件、企業への専門家派遣が326社、下請取引のあっせんが1,388件となるなど、中小企業の総合支援体制の整備に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・窓口相談、出張相談等の実施 2,835件 ・専門家の派遣 65社延べ473日 ・下請取引のあっ旋 406件
5 新分野開拓チャレンジ企業への支援 【産業支援課】	商工総務費 (4,497) 2,921	<p>中小企業の経営革新を促進するため、経営革新計画に基づき行う製品開発や販路拡大等の取り組みに対して支援した。</p> <p>これにより、平成18年度以降、経営革新計画承認138件、新製品研究開発助成6件2千248万8千円、新製品販路開拓助成10件908万3千円を支援し、中小企業の新分野開拓へのチャレンジの促進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営革新計画の審査承認件数 24件 ・新製品の販路拡大への支援 2件
6 基盤的技術産業集積活性化の推進 【産業支援課】	商工総務費 (24,991) 24,274	<p>「ものづくり」の基盤となる産業の集積とその活性化を図るため、技術の高度化や新技術の開発などに取り組む事業者に対して、技術・人材の両面から支援した。</p> <p>また、技術の高度化を支援するための開放機器を整備するなど、基盤的技術産業集積活性化の推進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ものづくり人材育成研修の実施 <ul style="list-style-type: none"> 工業技術センター 19講座 受講者 257人 富士工業技術センター 8講座 受講者 73人 ・技術高度化支援開放機器の整備 1件

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
7 中央自動車道 沿線広域産業 連携の推進 【産業政策課】	商工総務費 (4,103) 3,860	<p>特色のある企業が立地している中央自動車道沿線の多摩、諏訪の各地域との連携の強化に取り組み、本県中小企業の取引先の拡大、新技術・新製品の開発力の強化、技術力の向上を図った。</p> <p>これにより、県内企業67社の製品・技術PRレポートの作成や多摩地域企業とのビジネスマッチングが33件行われるなど、広域産業連携の推進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラスターマネージャーの企業訪問 延べ85社 ・シーズガイドブックの作成 ・産業展示会出展への支援 「ビジネスフェア from TAMA」への出展 5社
8 建設産業の活 性化への支援 【建設業対策室】	建設業指導監督費 (84,000) 76,988	<p>かつてない厳しい経営環境にある県内建設産業の活性化を図るため、経営力の強化、新分野進出や企業合併などを目指す意欲ある建設業者の取り組みを支援した。</p> <p>これにより、建設業者の新分野進出事業が計画どおり順調に実施されるなど、建設産業の経営基盤の強化に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建設業相談窓口の常時開設、派遣・巡回相談の実施 18回 ・建設業の新分野進出への支援 21件 ・セミナー、研修会の開催 4回 <p>※建設業経営者研修会については、平成22年度をもって終了した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やまなし建設産業活性化支援対策会議の開催 1回 ・建設業経営コンサルタントの派遣 10件
9 職業能力開発 施設の充実・ 強化 【産業人材課】	産業技術短期 大 学 校 費 (82,275) 22,120 [60,058]	<p>専門的技術者の育成を促進するため、産業技術短期大学校と工業系高等学校の連携を推進するとともに、職業能力開発施設の在り方ビジョンを踏まえ、今後の方向性を検討した。</p> <p>また、本県産業界の将来を担う専門的技術者を育成するため、産業技術短期大学校都留キャンパスの整備に着手した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業技術短期大学校と工業系高等学校の連携推進検討会の開催 1回 ・新たな職業能力開発施設の在り方研究会の開催 2回 ・都留キャンパス建設予定地の土地鑑定、測量、造成設計及び建築設計等の実施

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
10 技術系人材等の確保・育成対策の推進 【産業人材課】	商工総務費 (2,600) 2,213	<p>本県経済を活性化するため、推進会議を設置して企業の人材確保対策の充実や人材育成への支援を図った。これにより、産学官労の連携による人材の確保・育成に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術系人材の確保・育成アクションプランの推進 推進会議の開催 2回 ・人材確保対策の実施 山梨大学工学部地域産業リーダー養成特別枠学生の特別演習等への助成
11 公共職業訓練の推進 【産業人材課】	職業能力開発校費 (198,317) 182,857	<p>製造業や情報産業等の技術力の向上に資するため、技術革新に対応できる高度な職業能力を身につけた人材を育成した。</p> <p>これにより、平成22年度までの5年間で、専門課程388人、普通課程194人が修了した他、在職者向け訓練に9,009人が受講するなど、若年技術者の育成及び労働者の技術力向上に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業技術短期大学校における専門訓練の実施 4学科 修了者 81人 ・各技術専門校における養成訓練の実施 4学科 修了者 49人 ・各職業能力開発施設における向上訓練の実施 128コース 修了者 1,686人
12 民間職業能力開発の促進 【産業人材課】	職業能力開発振興費 (28,197) 20,962	<p>中小企業の技術力の向上を図るため、企業等の自主的な教育訓練を支援するなど、民間における職業能力開発を促進した。</p> <p>また、平成22年度には新たに5校が認定職業訓練校に加わるなど、労働者の職業能力の開発・向上に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認定職業訓練校への支援 訓練実施に係る助成 19校 ・地場中小企業の人材育成への支援 助成金の給付 9事業所

施策・事業名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
13 仕事と家庭の 両立支援の推 進 【労政雇用課】	労 働 福 祉 費 (630) 630	<p>勤労者福祉の充実を図るため、就業規則の整備等に関する講習会や個別相談会を開催するなど、企業における仕事と家庭の両立支援を推進した。</p> <p>これにより、平成17年度から実施している講習会は、延べ368人が受講し、職場における両立支援制度の整備の促進など、働きやすい職場環境づくりに寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講習会の開催 3回 受講者32人 ・個別相談会の開催 18回
14 公共工事にお ける県内企業 の優先活用 【技術管理課】	—————	<p>公共工事において下請負を行う場合は、県内企業を優先して活用するよう事業者に要請した。</p> <p>これにより、一次下請け工事に占める県内業者の割合は、常時87～90%で推移し、県内中小企業の育成等に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・契約図書への反映 一次下請け工事に占める県内業者割合 87.9% (平成22年4月～平成23年1月)
15 トライアル発 注の推進 【産業支援課】	—————	<p>中小企業の製品開発を促進するため、県内中小企業者が生産した優れた新商品の販路開拓を支援した。</p> <p>これにより、平成18年度以降20事業22商品の認定を行い、優先的な調達までには至らなかったものの、新商品カタログの作成・配布等の広報により、新商品の周知に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新事業分野開拓者の認定 5件
16 公共工事にお ける建設資材等 の県内優先調達 【技術管理課】	—————	<p>公共工事において建設資材を調達する場合は、県内製造品等を優先して使用するよう事業者に要請し、中小製造業等の育成に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・契約図書への反映
17 宝石美術専門 学校の移転整 備 【産業支援課】	宝石美術専門学校費 (1,166,601) 1,165,572	<p>学校教育環境の向上、学生の利便性の向上等のため、宝石美術専門学校の中心市街地への移転整備を行った。</p> <p>移転に伴い、魅力ある学校づくりを進めるとともに、中心市街地の活性化に貢献した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移転開校式 平成22年9月6日

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
18 県立大学におけるデザイン講座の実施 【私学文書課】	大 学 費 (331) 331	<p>地場工業製品の高付加価値化や差別化を図るため、学生や県民・企業が参加できるデザイン講座（公開講座）を県立大学で実施し、県民等のデザインに関する理解を深めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県立大学における公開講座の実施 平成 22 年 12 月～平成 23 年 1 月 4 回 参加者 62 人

「チャレンジ山梨行動計画」 政策別実施状況

基本 目標	2	「力みなぎる・やまなし」の実現
----------	---	-----------------

政策	5	新産業創出への支援	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	11	
<p>【政策推進に当たっての基本的考え方】 本県産業の活性化を図るため、ベンチャー企業の育成や産学官の連携による研究開発の推進など、新産業創出に向けた取り組みを進めます。 また、企業が県内に来てくれるのを待つといった「待ちの姿勢」から脱却し、将来性のある優良な県外企業の積極的な誘致に努めます。</p>					
平成22年度の主な取り組み状況	項 目		頁	担当部局	
	○ 山梨みらいファンドによる開業資金等の助成		P. 48	産 業 労 働 部	
	○ 工業技術センターをはじめとする試験研究機関の機能強化		P. 48	企画県民部・福祉保健部・森林環境部・産業労働部・農政部	
	○ 産学官の連携による燃料電池技術の研究開発・事業化の推進		P. 50	産 業 労 働 部	
	○ 情報通信関連企業立地への支援		P. 50	企 画 県 民 部	
	○ 産業集積促進助成金制度の運用		P. 51	産 業 労 働 部	
	○ 企業誘致の推進		P. 51	産 業 労 働 部	
	○ 中部横断道沿線地域の活性化の推進		P. 52	企画県民部・ 産 業 労 働 部	
事業費	行動計画の事業費（4年間の計画額）			10,762 百万円	
	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）			8,678 百万円	
	前年度までの事業費			7,136 百万円	
	本年度の事業費			1,542 百万円	
数値目標の達成状況	数 値 目 標 の 名 称	基 準 値 (基準年度) A	目 標 値 (目標年度) B	現 況 値 (直近データ) C	進 捗 率 (%) $\left(\frac{C-A}{B-A} \times 100\right)$
	企業誘致数 (行動計画期間中の累計)	—	50 件 (H22)	66 件 (H22)	132.0

主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策・事業名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
1 ファンドの活用促進等による創業支援 【産業支援課】	———	<p>将来大きな成長が期待できるベンチャー企業を支援するための「やまなしベンチャーファンド」の活用を促進するとともに、「山梨みらいファンド」を運用し、創業時に必要な資金の供給等を行った。</p> <p>これにより、平成 20 年度以降、開業資金助成 16 件、新製品研究開発助成 11 件、新製品販路開拓助成 17 件を行うなど、創業支援や経営強化に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山梨みらいファンドによる助成 <ul style="list-style-type: none"> 開業資金の助成 7 件 新製品の研究開発への助成 6 件 新製品の販路開拓への助成 12 件 全国展示会への出展助成 10 件
2 インキュベータ事業の推進 【産業支援課】	商 工 総 務 費 (638) 273	<p>起業家やベンチャー企業を育成するため、事業用スペースを貸与するインキュベータ施設において、事業の立ち上がりを総合的に支援した。</p> <p>これにより、平成 13 年度のインキュベーションルーム開設以降 31 人(社)が入居し、起業化の促進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インキュベーションルームの活用 5 室 ・経営・技術相談、取引あっ旋 インキュベーションマネージャーによる指導 延べ 6 日
3 やまなし科学技術基本計画の推進 【企 画 課】	企 画 総 務 費 (1,182) 700	<p>本県の科学技術を一層発展させていくため、科学技術に関する現状や課題、今後の方向等を盛り込んだ「やまなし科学技術基本計画」に基づく諸施策・事業を推進した。</p> <p>これにより、科学技術に親しむ環境づくりの推進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未来の科学者訪問セミナーの実施 小・中・高等学校 30 校 ・やまなし科学技術月間の実施 平成 22 年 11 月
4 試験研究機能の強化 【企 画 課】 【衛生薬務課】 【森林環境総務課】 【産業支援課】 【花き農水産課】 【農業技術課】	企 画 総 務 費 (25,967) 15,413 公 害 対 策 費 (4,778) 4,778	<p>工業技術センターをはじめとする試験研究機関の機能を強化するため、機器の計画的な整備などを推進するとともに、新産業の創出や新技術開発に向け、研究テーマの選別や研究予算の重点的な投入を推進した。</p> <p>これにより、各種試験研究で開発された新技術や得られた知見は、研究成果発表会、技術相談、普及活動等を通じ、産業界の技術向上等に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機器等の計画的整備 9 試験研究機関 ・研究予算の重点化 41 事業

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果																																																																																																																						
	水産業振興費 (490) 462 総合農業技術センター費 (6,301) 5,736 果樹試験場費 (12,220) 11,137 畜産試験場費 (4,988) 4,772 酪農試験場費 (814) 792 林業試験費 (1,489) 1,408 商工総務費 (100,000) 82,037 工業試験費 (73,139) 66,029	平成 22 年度重点化事業 <table border="1" data-bbox="676 347 1428 2069"> <thead> <tr> <th data-bbox="676 347 719 383"></th> <th data-bbox="719 347 1278 383">事業名</th> <th data-bbox="1278 347 1428 383">試験研究機関</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>壁面緑化による温度上昇抑制効果と夏季の健康に関する研究</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>廃食油を用いた廃棄ウレタンのリサイクルに関する研究</td> <td>環境科学研究所</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>県内におけるバイオマスの適正処理による環境負荷削減可能性の評価</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>スギ心持ち柱材の乾燥技術の確立</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>ヒノキ花粉症対策種苗の生産手法の確立</td> <td>森林総合研究所</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>カラマツ根株心腐病の被害分布の把握と対策指針の検討</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>肉盛溶接による金型補修に関する研究</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>誘導加熱による急速局所加熱の活用事業</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>導電性高分子被膜の形成法に関する研究</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>非鉄金属部品の信頼性向上のための切削加工に関する研究</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>金合金におけるロストワックス精密鑄造技術の向上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>甲州種ワインの高品質化に向けた栽培・醸造技術に関する研究</td> <td>工業技術センター</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>鉛フリーはんだ信頼性向上支援事業</td> <td></td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>金型鋼における高品質表面創成に関する研究</td> <td></td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>地域特産物の抗酸化力向上に関する研究</td> <td></td> </tr> <tr> <td>16</td> <td>表面処理法を用いたアルミニウム合金の新接合技術に関する研究</td> <td></td> </tr> <tr> <td>17</td> <td>三次元 CG・CAD 技術を応用した生体用プロダクトの開発</td> <td></td> </tr> <tr> <td>18</td> <td>廃プラスチック再資源化事業</td> <td></td> </tr> <tr> <td>19</td> <td>プラスチック成型用金型の成形性向上に関する研究</td> <td></td> </tr> <tr> <td>20</td> <td>金属溶液による繊維のヴィンテージ調着色技術の確立と色彩評価</td> <td>富士工業技術センター</td> </tr> <tr> <td>21</td> <td>濡れ巻き技術に関する研究</td> <td></td> </tr> <tr> <td>22</td> <td>全方向移動可能な床磨きロボットの自己位置推定手法に関する研究</td> <td></td> </tr> <tr> <td>23</td> <td>適正施肥支援システムの開発</td> <td></td> </tr> <tr> <td>24</td> <td>スイートコーンの鮮度保持技術と品質評価</td> <td></td> </tr> <tr> <td>25</td> <td>コショウランの省エネルギー栽培技術の確立</td> <td>総合農機センター</td> </tr> <tr> <td>26</td> <td>果菜類の有機栽培と土壌改善の技術実証</td> <td></td> </tr> <tr> <td>27</td> <td>リン酸・加里の施肥効率を高める肥培管理技術の確立</td> <td></td> </tr> <tr> <td>28</td> <td>生食用ブドウ新品種の育成</td> <td></td> </tr> <tr> <td>29</td> <td>ブドウの着色向上技術の開発</td> <td>果樹試験場</td> </tr> <tr> <td>30</td> <td>温暖化に伴うオウトウの生産安定技術の開発</td> <td></td> </tr> <tr> <td>31</td> <td>ブドウの「かすり症」発生抑制技術の確立</td> <td></td> </tr> <tr> <td>32</td> <td>輸向向けモモ果実におけるモモシンクイガ防除対策</td> <td></td> </tr> <tr> <td>33</td> <td>エコフィールドを活用した豚肉生産技術の確立</td> <td></td> </tr> <tr> <td>34</td> <td>高品質な豚肉を目指した飼料の開発</td> <td>畜産試験場</td> </tr> <tr> <td>35</td> <td>自然公園内における湖沼の水質の向上に関する研究</td> <td>総合理工学研究機構 衛生環境研究所 環境科学研究所 水産技術センター</td> </tr> <tr> <td>36</td> <td>化合物半導体多層太陽電池の開発</td> <td>総合理工学研究機構 富士工業技術センター 工業技術センター</td> </tr> <tr> <td>37</td> <td>酒造米および有色素米の栽培と利用に関する研究</td> <td>総合理工学研究機構 総合農機センター 工業技術センター</td> </tr> <tr> <td>38</td> <td>発酵食品残渣の有効利用に関する研究</td> <td>総合理工学研究機構 工業技術センター 環境科学研究所</td> </tr> </tbody> </table>			事業名	試験研究機関	1	壁面緑化による温度上昇抑制効果と夏季の健康に関する研究		2	廃食油を用いた廃棄ウレタンのリサイクルに関する研究	環境科学研究所	3	県内におけるバイオマスの適正処理による環境負荷削減可能性の評価		4	スギ心持ち柱材の乾燥技術の確立		5	ヒノキ花粉症対策種苗の生産手法の確立	森林総合研究所	6	カラマツ根株心腐病の被害分布の把握と対策指針の検討		7	肉盛溶接による金型補修に関する研究		8	誘導加熱による急速局所加熱の活用事業		9	導電性高分子被膜の形成法に関する研究		10	非鉄金属部品の信頼性向上のための切削加工に関する研究		11	金合金におけるロストワックス精密鑄造技術の向上		12	甲州種ワインの高品質化に向けた栽培・醸造技術に関する研究	工業技術センター	13	鉛フリーはんだ信頼性向上支援事業		14	金型鋼における高品質表面創成に関する研究		15	地域特産物の抗酸化力向上に関する研究		16	表面処理法を用いたアルミニウム合金の新接合技術に関する研究		17	三次元 CG・CAD 技術を応用した生体用プロダクトの開発		18	廃プラスチック再資源化事業		19	プラスチック成型用金型の成形性向上に関する研究		20	金属溶液による繊維のヴィンテージ調着色技術の確立と色彩評価	富士工業技術センター	21	濡れ巻き技術に関する研究		22	全方向移動可能な床磨きロボットの自己位置推定手法に関する研究		23	適正施肥支援システムの開発		24	スイートコーンの鮮度保持技術と品質評価		25	コショウランの省エネルギー栽培技術の確立	総合農機センター	26	果菜類の有機栽培と土壌改善の技術実証		27	リン酸・加里の施肥効率を高める肥培管理技術の確立		28	生食用ブドウ新品種の育成		29	ブドウの着色向上技術の開発	果樹試験場	30	温暖化に伴うオウトウの生産安定技術の開発		31	ブドウの「かすり症」発生抑制技術の確立		32	輸向向けモモ果実におけるモモシンクイガ防除対策		33	エコフィールドを活用した豚肉生産技術の確立		34	高品質な豚肉を目指した飼料の開発	畜産試験場	35	自然公園内における湖沼の水質の向上に関する研究	総合理工学研究機構 衛生環境研究所 環境科学研究所 水産技術センター	36	化合物半導体多層太陽電池の開発	総合理工学研究機構 富士工業技術センター 工業技術センター	37	酒造米および有色素米の栽培と利用に関する研究	総合理工学研究機構 総合農機センター 工業技術センター	38	発酵食品残渣の有効利用に関する研究	総合理工学研究機構 工業技術センター 環境科学研究所
	事業名	試験研究機関																																																																																																																						
1	壁面緑化による温度上昇抑制効果と夏季の健康に関する研究																																																																																																																							
2	廃食油を用いた廃棄ウレタンのリサイクルに関する研究	環境科学研究所																																																																																																																						
3	県内におけるバイオマスの適正処理による環境負荷削減可能性の評価																																																																																																																							
4	スギ心持ち柱材の乾燥技術の確立																																																																																																																							
5	ヒノキ花粉症対策種苗の生産手法の確立	森林総合研究所																																																																																																																						
6	カラマツ根株心腐病の被害分布の把握と対策指針の検討																																																																																																																							
7	肉盛溶接による金型補修に関する研究																																																																																																																							
8	誘導加熱による急速局所加熱の活用事業																																																																																																																							
9	導電性高分子被膜の形成法に関する研究																																																																																																																							
10	非鉄金属部品の信頼性向上のための切削加工に関する研究																																																																																																																							
11	金合金におけるロストワックス精密鑄造技術の向上																																																																																																																							
12	甲州種ワインの高品質化に向けた栽培・醸造技術に関する研究	工業技術センター																																																																																																																						
13	鉛フリーはんだ信頼性向上支援事業																																																																																																																							
14	金型鋼における高品質表面創成に関する研究																																																																																																																							
15	地域特産物の抗酸化力向上に関する研究																																																																																																																							
16	表面処理法を用いたアルミニウム合金の新接合技術に関する研究																																																																																																																							
17	三次元 CG・CAD 技術を応用した生体用プロダクトの開発																																																																																																																							
18	廃プラスチック再資源化事業																																																																																																																							
19	プラスチック成型用金型の成形性向上に関する研究																																																																																																																							
20	金属溶液による繊維のヴィンテージ調着色技術の確立と色彩評価	富士工業技術センター																																																																																																																						
21	濡れ巻き技術に関する研究																																																																																																																							
22	全方向移動可能な床磨きロボットの自己位置推定手法に関する研究																																																																																																																							
23	適正施肥支援システムの開発																																																																																																																							
24	スイートコーンの鮮度保持技術と品質評価																																																																																																																							
25	コショウランの省エネルギー栽培技術の確立	総合農機センター																																																																																																																						
26	果菜類の有機栽培と土壌改善の技術実証																																																																																																																							
27	リン酸・加里の施肥効率を高める肥培管理技術の確立																																																																																																																							
28	生食用ブドウ新品種の育成																																																																																																																							
29	ブドウの着色向上技術の開発	果樹試験場																																																																																																																						
30	温暖化に伴うオウトウの生産安定技術の開発																																																																																																																							
31	ブドウの「かすり症」発生抑制技術の確立																																																																																																																							
32	輸向向けモモ果実におけるモモシンクイガ防除対策																																																																																																																							
33	エコフィールドを活用した豚肉生産技術の確立																																																																																																																							
34	高品質な豚肉を目指した飼料の開発	畜産試験場																																																																																																																						
35	自然公園内における湖沼の水質の向上に関する研究	総合理工学研究機構 衛生環境研究所 環境科学研究所 水産技術センター																																																																																																																						
36	化合物半導体多層太陽電池の開発	総合理工学研究機構 富士工業技術センター 工業技術センター																																																																																																																						
37	酒造米および有色素米の栽培と利用に関する研究	総合理工学研究機構 総合農機センター 工業技術センター																																																																																																																						
38	発酵食品残渣の有効利用に関する研究	総合理工学研究機構 工業技術センター 環境科学研究所																																																																																																																						

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果								
5 産学官の連携による 燃料電池技術の研究 開発・事業化の推進 【海外展開・成長分野推進室】	企画総務費 (16,600) 16,015	<table border="1" data-bbox="678 293 1430 593"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>試験研究機関</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>39 高効率太陽熱吸収技術に関する研究開発</td> <td>総合理工学研究機構 工業技術センター 富士工業技術センター</td> </tr> <tr> <td>40 マイクロ金型による微細転写加工技術に関する研究</td> <td>総合理工学研究機構 工業技術センター 富士工業技術センター</td> </tr> <tr> <td>41 南アルプスにおけるニホンジカによる高山植物への影響と保護対策および個体数管理に関する研究</td> <td>総合理工学研究機構 森林総合研究所 環境科学研究所 酪農試験場</td> </tr> </tbody> </table> <p>新産業の創出に向け、山梨大学を中核に県立試験研究機関や関連技術を有する企業等が連携し、燃料電池技術の実用化を目指した研究開発を推進するとともに、県内にある技術シーズを産学官で連携して事業化するための取り組みを推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実用化研究の推進 ・燃料電池ナノ材料研究センターへの研究員派遣 2人 ・燃料電池研究を支援するための研究施設整備 ・国際水素燃料電池展出展 	事業名	試験研究機関	39 高効率太陽熱吸収技術に関する研究開発	総合理工学研究機構 工業技術センター 富士工業技術センター	40 マイクロ金型による微細転写加工技術に関する研究	総合理工学研究機構 工業技術センター 富士工業技術センター	41 南アルプスにおけるニホンジカによる高山植物への影響と保護対策および個体数管理に関する研究	総合理工学研究機構 森林総合研究所 環境科学研究所 酪農試験場
事業名	試験研究機関									
39 高効率太陽熱吸収技術に関する研究開発	総合理工学研究機構 工業技術センター 富士工業技術センター									
40 マイクロ金型による微細転写加工技術に関する研究	総合理工学研究機構 工業技術センター 富士工業技術センター									
41 南アルプスにおけるニホンジカによる高山植物への影響と保護対策および個体数管理に関する研究	総合理工学研究機構 森林総合研究所 環境科学研究所 酪農試験場									
6 情報通信産業 への支援 【情報産業振興室】	情報管理費 (19,272) 16,939	<p>今後さらなる発展が見込まれる情報通信産業の振興や企業誘致を図るため、事務所や情報通信機器の整備を支援するとともに、情報通信産業の振興策や人材育成策などを検討した。</p> <p>これにより、情報通信関連企業の立地について平成20年度から取り組み、延べ9企業の新設または増設に対し支援を行うなど、情報通信産業の振興や人材育成に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報通信関連企業立地への支援 2件 ・山梨県ICT産業推進協議会の開催 全体会議 3回 分科会 3回 								
7 高度情報化拠点の整備 【企画課】 【情報産業振興室】	企画総務費 (28) 28	<p>地域の活性化と本県産業の振興に資するよう、甲府駅北口県有地に高度情報化拠点を整備し、情報通信産業の誘致等を進めることとしているが、現在の経済情勢を見極めるため、関係機関などから情報収集を行った。</p> <p>これにより、厳しい経済環境の中、開発業者の進出意欲が依然として極めて低調であることから、継続して情報収集を行っていくことが必要であることを確認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業再開に向けた検討のための情報収集 4回 								

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
8 若者チャレンジへの支援 【労政雇用課】	雇用対策費 (1,055) 200	<p>若者の正社員就職と職場定着を支援するため、ジョブカフェ利用者や企業を対象としたセミナーや交流会を開催した。</p> <p>これにより、平成19年度以降、若者に対するチャレンジ就活講座は224人、企業に対する若者職場定着セミナーは209社が参加するなど、若者の正規雇用の促進と働く意欲の持てる環境づくりに寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者に対するチャレンジ就活講座の開催 4回 参加者 39人 ・企業に対する若者職場定着セミナーの開催 2回 参加企業 43社 ・若者と企業のチャレンジ仕事広場の開催 3回 参加者 23人 参加企業 13社
9 産業集積の促進 【海外展開・成長分野推進室】 【産業集積推進課】	企業立地対策費 (312,083) 296,976	<p>県、市町村を中心に地域が緊密に連携して、本県の特長と強みを活かした産業集積の形成・活性化を図るため、国の支援も活用しながら本県独自の産業集積を促進した。</p> <p>また、産業集積促進助成金制度の運用により、平成18年度からの5年間で22企業が立地するなど、新規雇用の拡大が図られ、本県経済の活性化に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業集積促進助成金制度の運用 2件 ・燃料電池実用化推進会議の開催 2回 ・燃料電池自動車の理解促進活動の実施 <p style="text-align: right;">平成22年5月～11月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山梨水素ステーション設置可能性調査の実施 ・燃料電池実用化推進セミナーの実施 4回8講座
10 企業誘致の推進 【産業集積推進課】	企業立地対策費 (44,501) 33,712	<p>活力ある産業の集積と雇用の拡大による本県産業経済の活性化を図るため、製造業を中心に、将来性のある優良な企業の誘致を推進した。</p> <p>これにより、平成19年度以降66件の工場立地を図るなど、雇用の拡大と本県経済の活性化に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業立地成功報酬制度の運用 ・やまなし産業立地コミッションの運営 ・県内外の企業訪問 延べ407社 ・市町村が行う工場等用地整備事業への支援 2件

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
11 中部横断道沿線地域の活性化の推進 【企画課】 【商業振興金融課】	企画総務費 (700) 486 商工振興費 (200) 78	<p>中部横断道の開通を視野に入れながら、地域特性を踏まえた交流（観光）、物流面での活性化に必要な施策を計画的に推進した。</p> <p>これにより、地域が主体となった推進協議会やブロック推進会議において、先導的なプロジェクトを決定し、沿線地域の活性化の推進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中部横断道沿線地域活性化構想推進協議会の開催 平成 23 年 3 月 ・北部ブロック中部横断道沿線地域活性化構想ブロック推進会議の開催 5 回 ・峡南地域中部横断道沿線地域活性化構想ブロック推進会議の開催 5 回 ・山梨県物流対策研究会の開催 2 回

「チャレンジ山梨行動計画」 政策別実施状況

基本 目標	2	「力みなぎる・やまなし」の実現
----------	---	-----------------

政策	6	競争力のある商業の振興	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	8	
<p>【政策推進に当たっての基本的考え方】 商業の活性化を図るためには、多様化する消費者ニーズに対応した個性豊かな商店街づくりなどを促進することが求められています。このため、中心市街地の再生を進め、商店街の活性化、にぎわい創出を図るとともに、空き店舗の解消等を進めます。</p>					
平成22年度の主な取り組み状況	項 目		頁	担当部局	
	○ 大規模集客施設等の立地に関する方針の運用		P.54	産業労働部	
	○ 商店街活性化イベントの開催等への助成		P.54	産業労働部	
	○ 中心市街地再生モデル事業への支援		P.54	産業労働部	
	○ 中心市街地での街路整備		P.54	国土整備部	
	○ 甲府市紅梅地区市街地再開発への支援		P.55	国土整備部	
	○ 電線類地中化の推進		P.55	国土整備部	
	○ 商店街空き店舗解消への支援		P.55	産業労働部	
事業費	行動計画の事業費（4年間の計画額）			16,125 百万円	
	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）			18,156 百万円	
	前年度までの事業費			14,589 百万円	
	本年度の事業費			3,567 百万円	
数値目標の達成状況	数 値 目 標 の 名 称	基 準 値 (基準年度) A	目 標 値 (目標年度) B	現 況 値 (直近データ) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A}\right) \times 100$
	年間商品販売額増加商店街数	27 地区 (H16)	32 地区 (H21)	H20 以降のデータなし (参考 H19 27 地区)	

主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策・事業名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
1 大規模集客施設等の立地に関する方針の運用 【商業振興金融課】	———	<p>大規模集客施設等の適正立地を図るため、立地方針に基づき、設置者に対し立地計画の早期届出や地域貢献活動の実施を求めた。また、施設規模の縮小化など立地動向の変化を踏まえ、対象となる施設を拡大するなど立地方針の見直しを行った。</p> <p>これにより、平成19年度以降、立地計画の早期届出は3件、地域貢献活動基本計画は22店舗から提出があり、大型店と地域との連携等に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域貢献活動基本計画の提出 4件
2 商店街活力再生への支援 【商業振興金融課】	商 工 振 興 費 (11,000) 6,606	<p>商店街の活力を再生させるため、市町村や商工会等が行うイベントの開催や商店街の施設整備などに対して支援した。</p> <p>これにより、平成19年度以降、延べ42件の助成を行い、商店街の賑わいの創出に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街活性化イベントの開催や、街路灯整備等への助成 11団体
3 中心市街地活性化の促進 【商業振興金融課】	商 工 振 興 費 (5,000) 4,883	<p>中心市街地の活性化を促進するため、甲府市中心市街地のモデル区域でまちづくり会社が行う空き店舗の利活用による商店街再生事業、中心市街地活性化協議会の構成員である商工会議所が行う活性化事業に対して支援した。</p> <p>これにより、甲府市中心市街地における新たな賑わいの創出に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地再生モデル事業への支援 1団体
4 円滑な交通環境の確保 【都市計画課】	街 路 事 業 費 (4,003,671) 2,497,414 [1,506,257]	<p>甲府市などの中心市街地やその周辺地域において、円滑な交通環境を確保するとともに、市街地の活性化や都市防災機能の向上を図るため、街路の整備を行い、魅力ある街並みを形成した。</p> <p>これにより、円滑な通行が可能となり、中心市街地の賑わいの創出にも寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・街路の整備 <ul style="list-style-type: none"> 愛宕町下条線（荒川渡河工区） 延長 0.8 km 中央通り線 延長 0.6 km

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
5 甲府紅梅地区 市街地再開発 への支援 【都市計画課】	都市計画総務費 (299,230) 299,230	<p>甲府市中心市街地において、住宅などの環境整備や施設の機能更新、地区の高度利用を促進するため、甲府紅梅地区市街地再開発組合に助成する甲府市に対して支援した。</p> <p>これにより、新たな商業施設の整備とともに、街なか居住が促進された。</p> <ul style="list-style-type: none"> 再開発ビルの建設 建設工事の完成
6 ヴァンフォーレ レ広場の設置 【企画課】 【商業振興金融課】	企画総務費 (1,000) 874	<p>中心市街地を活性化するため、「ヴァンフォーレ甲府」をテーマに県民が交流する「広場」を地域が主体となって運営する仕組みについて検討し、ヴァンフォーレ広場を設置した。</p> <p>これにより、3年間で約2,100人が参加するなど、中心市街地の賑わいの創出に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ヴァンフォーレ広場の試行的実施 平成22年10月 大型映像装置による試合の放映 関連イベント
7 安全で快適な 道路空間の形成 【道路管理課】	道路橋りょう建設費 (1,037,812) 755,745 [282,067]	<p>商店街などにおける限られた空間を有効活用し魅力ある景観を創出するとともに、安全で快適な道路空間を形成するため、電線類の地中化を推進した。</p> <p>これにより、計画を上回る2.1kmの電線共同溝工事が完了し、美しい街並みの形成や歩行空間のバリアフリー化に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電線類の地中化 国道140号(甲府市和戸町地内) 外3路線 延長2.1km
8 商店街空き店 舗活用への支 援 【商業振興金融課】	商工振興費 (4,000) 2,154	<p>商店街の賑わいを創出し空き店舗の解消を図るため、市町村や商工会等が行う空き店舗を活用した事業などに対して支援した。</p> <p>これにより、平成19年度からの新規創業・家賃補助対象店舗数が55店舗となり、県内商店街の活性化に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 創業セミナーや家賃補助など空き店舗への出店促進や、空き店舗を活用した地域コミュニティスペース等への助成 4団体

「チャレンジ山梨行動計画」 政策別実施状況

基本 目標	2	「力みなぎる・やまなし」の実現
----------	---	-----------------

政策	7	経済・雇用対策の推進	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	3	
<p>【政策推進に当たっての基本的考え方】 戦後最悪とも言われる深刻な経済不況を克服するには、県内経済情勢を踏まえた対策を切れ目なく実施していくことが重要です。国の経済対策に呼応しつつ、現下の経済・雇用を下支えするための緊急的な対策を講じるとともに、本県の将来の発展を見据えた未来への投資にも積極的に取り組み、県内経済の活性化を図ります。</p>					
平成22年度の主な取り組み状況	項 目		頁	担当部局	
	○ 地域経済対策協議会の開催		P.58	産業労働部	
	○ 緊急経済・雇用対策本部の開催		P.58	産業労働部	
	○ 緊急雇用創出事業の実施		P.58	産業労働部	
	○ 求職者総合支援センターの設置・運営		P.58	産業労働部	
	○ ジョブカフェサテライトの設置・運営		P.58	産業労働部	
	○ ふるさと雇用再生事業の実施		P.58	産業労働部	
	○ 緊急離転職者訓練の拡充		P.58	産業労働部	
	○ 障害者向け職業訓練の委託先開拓員の設置		P.58	産業労働部	
事業費	行動計画の事業費（4年間の計画額）			7,539 百万円	
	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）			7,826 百万円	
	前年度までの事業費			2,835 百万円	
	本年度の事業費			4,991 百万円	
数値目標の達成状況	数 値 目 標 の 名 称	基 準 値 (基準年度) A	目 標 値 (目標年度) B	現 況 値 (直近データ) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A}\right) \times 100$
	雇用創出数（累計）	—	4,000人以上 (H22)	5,702人 (H22)	142.6

主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
1 緊急経済・雇用対策の推進 【産業政策課】	———	<p>本県経済の安定と雇用の場を確保し、県民生活の安定と地域経済の活性化を図るため、経済関係機関による情報交換の場としての地域経済対策協議会を開催し、県内経済に関する基本的な認識を確認するとともに、緊急経済・雇用対策本部を適時に開催し、各種経済・雇用対策を適切に推進した。</p> <p>また、補正予算や当初予算の編成を通じて経済・雇用対策を講じるなど、地域経済対策及び雇用対策の効果的かつ円滑な推進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域経済対策協議会の開催 3回 ・緊急経済・雇用対策本部の開催 本部会議 3回 幹事会 3回
2 雇用を“守る”プロジェクトの推進 【労政雇用課】	雇用対策費 (3,320,202) 3,190,879	<p>短期的な雇用機会の創出と就業支援等の強化を図るため、県や市町村における直接雇用等を行うとともに、「求職者総合支援センター」を設置し、生活相談から職業紹介まできめ細かな支援を実施した。</p> <p>これにより、県・市町村合わせて2,762人の短期の雇用・就業機会を確保するとともに、求職者総合支援センターでは延べ37,232人が来所し、再就職を支援するなど、雇用の安定に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急雇用創出事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> 県、市町村を合計した雇用創出人数 2,762人 ・求職者総合支援センターの設置・運営 <ul style="list-style-type: none"> 平成21年6月設置 来所者数 37,232人 ・ジョブカフェサテライトの設置・運営 <ul style="list-style-type: none"> 平成21年4月設置 来所者数 955人
3 雇用を“創る”プロジェクトの推進 【労政雇用課】 【産業人材課】	雇用対策費 (1,674,307) 1,635,749 職業能力開発校費 (179,997) 164,333	<p>中長期的な視点に立った雇用の創出と人材育成の拡充を図るため、県や市町村が民間への事業委託を行うとともに、雇用の受け皿として期待できる介護福祉分野などの緊急離転職者訓練を拡充した。</p> <p>これにより、県・市町村合わせて581人の継続的な雇用機会を提供するなど、雇用の安定に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと雇用再生事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> 県、市町村を合計した雇用創出人数 581人 ・緊急離転職者訓練の拡充 <ul style="list-style-type: none"> 訓練定員 690人(前年540人) ・障害者向け職業訓練の委託先の拡充 <ul style="list-style-type: none"> 委託先開拓員3人設置